

稲沢市民病院

地域医療構想推進委員会の意見

病床維持の必要性	必要性がある 必要性が乏しい 判断がつかない(継続協議)
上記の理由	< 3 階北病棟(32 床) > 新型コロナウイルス感染症がまん延したことに伴い、5 階南病棟(46 床)で感染症患者を受け入れるため、3 階北病棟(32 床)を一時的な休棟にしていましたが、感染が収束したため再稼働の調整を進めています。 尾張西部医療圏内の救急医療において、稲沢市域の二次救急患者は稲沢市内にある稲沢厚生病院及び稲沢市民病院が担い、三次救急患者は一宮市内にある救命救急センターが担う体制で整理されています。 3 階の同じフロアには、3 階南病棟(17 床)のHCU病棟があり、3 階北病棟(32 床)は急性期機能として再稼働する計画です。 以上のことから 3 階北病棟(32 床)の必要性があると考えます。

(継続協議の場合)

今後、検討に必要な資料	
-------------	--

※ 地域医療構想推進委員会の総意として、「当該病棟の維持の必要性が乏しい」とされた場合には、今後、愛知県医療審議会医療体制部会に地域医療構想推進委員会の意見を報告した上で、意見聴取を行います。

<参考>今後の流れ (令和3年3月8日付け愛知県保健医療局長通知より抜粋)

